



おうぎだい

◇ 令和7年度 二十歳のつどい

令和8年1月11日(日)

扇台公民館「二十歳のつどい」



令和7年度の「二十歳のつどい」は、北陸ならではの強風の中での開催となり、晴れ着の裾を気にする新成人の姿も、時折見受けられました。

東ゆいさんによる市民憲章唱和に引き続き、北川愛梓さんに記念品が授与されました。

北本絆さんによる誓いの言葉では、今まで自分を育ててくれた両親への思いが溢れる感動的なスピーチとなり聞く人全ての胸を打つ時間が続いていきました。

その後、平光希さんによる交通安全宣言及び明るい選挙推進の決議が大人への自覚と共に朗読され厳粛な雰囲気の中、無事第一部が終了しました。

一転、和気あいあいとした雰囲気ではじめた第二部では、恩師である氏原弘樹先生、丸岡静華先生各々から、懐かしく楽しかった当時の話題の

数々が披露され、会場は暖かくも和やかな笑いに包まれました。

クラス毎の記念撮影を最後に全ての行事が終わりましたが、参加者は皆、冬の日差しのもと、友人たちとの久々の再開に胸を躍らせ、名残惜しように会場に留まっている姿が、思い出深い今年の式典を象徴しているように感じました。

能登半島地震から2年以上が経ちましたが、現地では今なお1万8千人の方が仮設住宅に身を寄せていらっしゃいます。石川はひとつです。今年も能登への思いを共有し、能登に寄り添っていけるそんな一年になることを皆さま共々心から祈りたいと思います。

扇台公民館館長 藤井 宏